

専門分野・看護の統合と実践 授業計画

授業科目及び時間数	ケーススタディ 1単位 15時間		
開講時期	3年次 前期		
担当教員	黒川みゆき	実務経験	有
<p><科目のねらい> 看護研究に取り組み、得られたことを看護実践に活用していく力が必要である。看護研究は看護実践の発展にとって重要であり、看護師として身に付けるべき能力である。卒業時までには看護のよき実践者となるために、自己の看護観を見つめ直し、看護を探究する姿勢を持つことが求められている。本授業において、実習での事例を論文にまとめ、自己の課題を明確にしていく。</p> <p><到達目標> 1. 研究方法の習得、論理的思考を身に付ける。 2. ケーススタディを通し、自己の課題を明確にする。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 授業計画 2. ケーススタディの進め方 3. 計画書の作り方 1) 研究テーマ、研究動機、研究目的の再確認 2) 文献検索を行う 3) 計画書の見直し 4) 倫理的配慮を考える	講義・演習	
2回目	1. 倫理的配慮 1) 研究趣旨の説明と同意を得る 2) 情報の取り扱い 2. 実習での学びを基に研究課題を選定 1) 実習での事例を基に、自己の学びから研究課題を選定し明確化する 2) 文献検索を行う 3) 研究計画書を修正する	講義・演習	
3回目	1. 論文の書き方 1) ルール 2) はじめにの構成条件 3) キーワード 4) 著者名 5) 研究方法 6) 倫理的配慮 7) 結果 8) 考察 9) 結論 10) 引用参考文献 2. 原稿の規定	講義	
4回目	1. 論文の作成（指導教員の助言を受け、論文を作成する）	演習	
5回目	1. 論文の作成		
6回目	1. 論文の作成		
7回目	1. 発表準備（発表資料の準備・印刷、発表原稿の準備）		
8回目	1. 口頭発表（全体発表及びグループ発表）	プレゼンテーション	
評価方法	ループリック評価（100%）		
受講生に対するメッセージ	ケーススタディのプロセスを踏みながら実習を振り返ることで、自分の看護について考える機会となり、リフレクティブな学びとなることを期待している。		
テキスト	系統看護学講座 別巻 看護研究 医学書院		